

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点				
							国語への関心 意欲・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①	1	(1)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと	小林さんの学級では、何について話し合いをしていたかを聞くこと。		○			
②		(2)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと	「卒業を前に学校のためにできること」について出た意見を大きく二つにまとめながら聞くこと。		○			
③		(3)		話すこと・聞くこと 5・6年	ウ 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと	司会者の話し合いの進め方のよいところを聞くこと。		○			
④											
⑤		(4)		言語事項 5・6年	カ-(イ) 必要に応じて共通語で話すこと	司会者としての立場を考えて、共通語で話すこと。					○
⑥				話すこと・聞くこと 5・6年	ウ 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと	司会者として、発言者の意見のやりとりを聞き、話し合いの流れを修正すること。		○			
⑦				話すこと・聞くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	司会者の立場を理解し、話し合いを議題に沿って進めるために話そうとすること。	○				
⑧	2	(1)	①	言語事項 5年	「いきお (い)」と読むこと	5年配当の漢字「勢」を、訓読みで「いきお (い)」と正しく読むこと。					○
⑨			②	言語事項 5・6年	「きけん」と読むこと	学校生活で使うことの多い、6年配当の漢字「危」と5年配当の漢字「険」を組み合わせた熟語「危険」を、「きけん」と正しく読むこと。					○
⑩			③	言語事項 4・6年	「かいかく」と読むこと	社会生活で使うことの多い、4年配当の漢字「改」と6年配当漢字「革」を組み合わせた熟語「改革」を、「かいかく」と正しく読むこと。					○
⑪			④	言語事項 1・6年	「じゅもく」と読むこと	6年配当の漢字「樹」と1年配当の漢字「木」を組み合わせた熟語「樹木」を、「じゅもく」と正しく読むこと。					○
⑫			⑤	言語事項 6年	「たず (ねる)」と読むこと	6年配当の漢字「訪」を、訓読みで「たず (ねる)」と正しく読むこと。					○
⑬		(2)	①	言語事項 5・6年	「展示」と書くこと	学校生活で使うことの多い、6年配当の漢字「展」と5年配当の漢字「示」を組み合わせた熟語「展示」を正しく書くこと。					○
⑭			②	言語事項 3・5年	「習慣」と書くこと	3年配当の漢字「習」と5年配当の漢字「慣」を組み合わせた熟語「習慣」を正しく書くこと。					○
⑮			③	言語事項 6年	「探 (す)」と書くこと	6年配当の漢字「探」を「探 (す)」と正しく書くこと。					○
⑯			④	言語事項 5年	「支 (える)」と書くこと	5年配当の漢字「支」を「支 (える)」と正しく書くこと。					○
⑰			⑤	言語事項 5年	「情報」と書くこと	社会生活で使うことの多い、5年配当の漢字「情」と「報」を組み合わせた熟語「情報」を正しく書くこと。					○

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				
							国語への関心 意欲・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
⑮		(3)	①	言語事項 5・6年	カ-(ア) 敬語の使い方に慣れること	「いる」を敬語（尊敬語）を使った表現に直すこと。					○
⑰			言語事項 5・6年	カ-(ア) 敬語の使い方に慣れること	「思った」を敬語（丁寧語）を使った表現に直すこと。					○	
⑳			②	言語事項 5・6年	ウ-(イ) 語句の由来について理解を深めること	上の漢字が動作や作用を、下の漢字がその対象を表す二字の熟語の組み立てを理解すること。					○
㉑		(4)		言語事項 5・6年	ア-(イ) 仮名及び漢字の由来などについて理解すること	共通する部首を三つの漢字に組み合わせることで、それぞれ別の漢字ができることを理解すること。					○
㉒	3	(1)		読むこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	違う視点から書かれているが、共通するテーマを持つ二つの作品を読み比べ、最も強く心に残った一文を見つけようとしている。	○				
㉓				読むこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	最も強く心に残った一文について、読み取った内容から理由をまとめようとしている。	○				
㉔		(2)		言語事項 5・6年	ウ-(エ) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと	文脈から、「国境がありません」という言葉が表現している意味を正しくとらえること。					○
㉕		(3)		読むこと 5・6年	エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえて読むこと	二つの文章を読み比べ、文章の内容を的確に押さえながら、共通している筆者の考えをとらえること。					○
㉖		(4)		読むこと 5・6年	エ 書かれている内容について自分の考えを明確にしながらか読むこと	二つの文章に共通するテーマについて、書かれている事例やこれまでの体験・知識をもとにして、自分の考えをまとめること。					○
㉗		4	(1)		書くこと 5・6年	イ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること	自分の考えが効果的に伝わるように材料を選択し、構成を工夫すること。				○
㉘	(2)				書くこと 5・6年	エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて書くこと	(1)で考えた構成に基づき、材料をもとに睡眠時間の見直しについて、自分の意見を具体的に書くこと。				○
㉙				言語事項 5・6年	オ-(ア) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること	文や文章の構成を理解し、表記や記述に注意して、文章を書くこと。					○
㉚				書くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	睡眠時間の見直しについて、材料を活用しながら、自分の意見がよく伝わるように書こうとすること。	○				